

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分		基礎分野		授業の方法		講義演習	
科 目 名		家族論		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		16 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年		2年次		学期及び曜時限		通年		教室名		視聴覚室・講堂	
担 当 教 員		梶谷 みゆき		実務経験とその関連資格		元島根県立大学 看護学科 教授					
《授業科目における学習内容》											
家族社会学の基礎的な概念や理論をふまえながら、現代社会における社会変動が家族に及ぼす影響や個人のライフスタイルと家族という集団の関連、家族関係と職業・労働の問題、さらには、近年大きな社会的課題となっているケアと家族についてなど、家族にまつわる様々な諸相について学ぶ。 また、家族論や家族システム論など、家族看護学を習得するために基礎となる理論について学ぶ											
《成績評価の方法と基準》											
出席並びに課題提出状況、グループ発表で総合的に評価する□ □ □											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院											
《授業外における学習方法》											
配布資料と授業からそれぞれに自分の考えをまとめ、グループ発表の準備を行う。□ □ □											
《履修に当たっての留意点》											
グループワークで積極的に意見交換ができるように事前学習を十分にしておくこと。											
授業の方法			内 容					使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族とは何か家族の歴史・家族構成 ・少子社会と高齢社会 ・現代の家族とその課題について説明することができる					講義資料＋テキスト他	復習を勧めます。		
		各コマにおける授業予定	1. 家族とは何か 2. 家族の歴史・家族構成 3. 少子社会と高齢社会 ・現代の家族とその課題								
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	性愛と配偶者選択・親子関係・家族と職業について説明することができる					同上	同上		
		各コマにおける授業予定	4. 性愛と配偶者選択 5. 親子関係 6. 家族と職業								
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	労働と家庭・家族とケア(育児と高齢者介護)について説明することができる					同上	同上		
		各コマにおける授業予定	7. 労働と家庭 8. 家族とケア(育児と高齢者介護)								
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族と暴力について説明することができる 家族と医療について説明することができる					同上	同上		
		各コマにおける授業予定	9. 家族と暴力 10. 家族と医療								
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族看護を支える理論と介入法について説明することができる					同上	同上		
		各コマにおける授業予定	11. 家族看護を支える理論と介入法(家族の感情表出(EE)含む)								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	積極的に意見交換ができ、テーマについて説明することができる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	講義内容をもとに家族とケアについてグループワーク・発表・ディスカッション		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	積極的に意見交換ができ、テーマについて説明することができる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	講義内容をもとに家族とケアについてグループワーク・発表・ディスカッション		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	積極的に意見交換ができ、テーマについて説明することができる	同上	同上
		各コマにおける授業予定	講義内容をもとに家族とケアについてグループワーク・発表・ディスカッション		